

絶滅しそうな動物がこんなにいたんだー!!

救おう地球の仲間、日本版レッドデータブックの動物たち

絶滅危惧種 (赤字は円山動物園の動物・H16.9月現在)

哺乳類		哺乳類	
CR モグラ目	VU ネズミ目	センカクモグラ	トウキョウトガリネズミ
コウモリ目	ネコ目	エラブオオコウモリ	ツシマテン
オガサワラオオコウモリ	アザラシ目	ダイトウオオコウモリ	トド
ミヤコキクガシラコウモリ	鳥類	ヤンバルホオヒゲコウモリ	CR ベリカン目
ネズミ目	チシマウガラス	オキナワトゲネズミ	コウノトリ目
セズネズミ	コウノトリ	ネコ目	クロツラヘラサギ
ツシマヤマネコ	カモ目	ニホンカワウソ (本州以南個体)	シジュウカラガン
ニホンカワウソ (北海道個体群)	タカ目	アザラシ目	カムリワシ
ニホンアシカ	ダイトウノスリ	コウモリ目	チドリ目
エゾホオヒゲコウモリ	ウミガラス	オキナワコキクガシラコウモリ	ウミスズメ
カグラコウモリ	エトピリカ	クビワコウモリ	カラフトアオアシシギ
クロホオヒゲコウモリ	コジャクシギ	コヤマコウモリ	フクロウ目
シナノホオヒゲコウモリ	ワシミズク	ヒメホオヒゲコウモリ	シマフクロウ
ヒメホリカワコウモリ	キツツキ目	ホンドノレンコウモリ	ノグチゲラ
モリアブラコウモリ	ミユビゲラ	ヤエヤマコキクガシラコウモリ	スズメ目
リュウキュウコウモリ	ウスアカヒゲ	リュウキュウテングコウモリ	オオトラツグミ
ウサギ目	EN ミズナギドリ目	アマミノクロウサギ	コアホウドリ
ネズミ目	ベリカン目	アマミトゲネズミ	アカアシカツオドリ
オリイジネズミ	アカオネツタイチョウ	ケナガネズミ	コウノトリ目
ネコ目	オオヨシゴイ	イリオモテヤマネコ	サンカノゴイ
アザラシ目	カモ目	ゼニガタアザラシ	ツクシガモ
VU モグラ目	タカ目	エチゴモグラ	イヌワシ
コウモリ目	オガサワラノスリ	イリオモテコキクガシラコウモリ	オジロワシ
ウスリドールベントコウモリ	クマタカ	ウスリホオヒゲコウモリ	シマハヤブサ
オリイコキクガシラコウモリ	ツル目	カグヤコウモリ	ヤンバルクイナ
チチブコウモリ	チドリ目	ニホンウサギコウモリ	アマミヤマシギ
ニホンコテングコウモリ	セイタカシギ	ニホンテングコウモリ	チシマシギ
ヒナコウモリ	ヘラシギ	フジホオヒゲコウモリ	ハト目
ヤマコウモリ	アカガシラカラスバト		

絶滅危惧種分類

カテゴリー (絶滅の危険度)	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類
絶滅 (EX)	4	13	0	0
野生絶滅 (EW)	0	1	0	0
絶滅危惧 I A 種 (CR)	12	17	2	1
絶滅危惧 I B 種 (EN)	20	25	5	4
絶滅危惧 II 種 (VU)	16	47	11	9
準絶滅危惧 (NT)	16	16	9	5
情報不足 (DD)	9	16	1	0
地域個体群 (LP)	12	2	2	4

☆ニホンカワウソ 本州以南個体群 (CR)

かつては河川中・下流部に広く生息していたが、過度の捕獲、生活環境の改変、汚染などにより激減し、最近の生息確認情報がないため、絶滅した恐れもある。この他に北海道個体 (CR) もいるが、北海道でも30年以上確認されていない。



☆ダルマガエル (VU)

日本産のカエル類の中では生息地が、中部から山陽と四国の一部に限られている。現在の生息状況はきわめて悪化しており、生息地破壊が最大の脅威。ウシガエルによる捕食も報告されている。



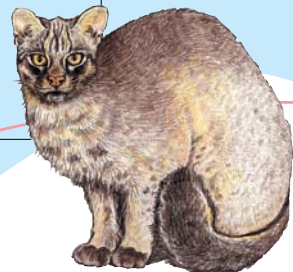
☆ヤンバルクイナ (EN)

日本で唯一の飛べない鳥で昭和56年に発見された。沖縄島北部のみに生息する。近年の森林伐採やマングースなどの肉食動物による影響が心配される。



☆イリオモテヤマネコ (EN)

八重山諸島の西表島のみに分布し、生息数は100頭前後と推定。観光開発などによる、生息地の減少と交通事故などで激減している。



☆シマフクロウ (CR)

フクロウの中では最大で翼を広げると1.5m以上もある。現在では、約120羽ほどが北海道東部を中心に生息。森の破壊や川魚の減少でその数が激減した。



☆ゼニガタアザラシ (EN)

北海道では、エリモ岬から根室にかけての沿岸に生息し、500頭ほどが記録されている。サケ定置網などによって死亡することもある。



☆エトピリカ (CR)

北太平洋の亜寒帯海域に分布し、日本では北海道東部に繁殖地がある。魚網に引っかかったり、カモメがヒナを捕食したりして減少した。



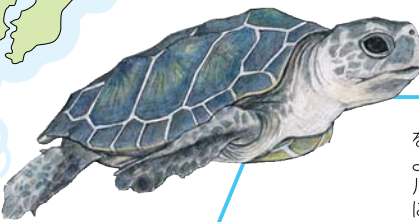
☆ホクリクサンショウウオ (EN)

分布は石川県・富山県に限られている。ペットマニアによる捕獲、鳥による捕食、水質汚濁、開発によって繁殖地周囲が整備され、産卵数の激減。石川県下の個体数は2000前後、富山県でも個体数は減少している。



☆アオウミガメ (VU)

日本では、小笠原諸島、南西諸島を産卵場としている。護岸工事による産卵場の減少の他にビニール袋の誤飲(クラゲと間違えて)による死亡が多発している。



☆オガサワラオオコウモリ (CR)

小笠原諸島(母島・父島)硫黄列島(北硫黄島・硫黄島・南硫黄島)に固有な中型のオオコウモリ。父島では徐々に増えてきているが、観光開発によるねぐらの消失や、果樹食害防止ネットに引っかかり死亡するなど、生息を脅かしている。



鳥類		鳥類	
EN ハト目	VU スズメ目	キンバト	アカコッコ
ヨナクニカラスバト	アカヒゲ	フクロウ目	イイジマムシクイ
キンメフクロウ	ウチヤマセンニュー	キツツキ目	オーストンヤマガラ
オーストンオオアカゲラ	オリヤマガラ	スズメ目	コジュリン
オオセッカ	タネコマドリ	オガサワラカワラヒワ	ナミエヤマガラ
モスケミソサザイ	ハハジマメグロ	ヤイロチョウ	ホントウアカヒゲ
ルリカケス	ルリカケス	VU ミズナギドリ目	爬虫類
アホウドリ	CR トカゲ目	オーストンミツバメ	イヘヤトカゲモドキ
クロウミツバメ	キクザトサワヘビ	クロコシジロウミツバメ	オビトカゲモドキ
ヒメクロウミツバメ	ヒメヘビ	ベリカン目	マダラトカゲモドキ
アオツラカツオドリ	ヤマシナトカゲモドキ	カモ目	カメ目
コクガン	タイマイ	トモエガモ	タカ目
ヒシクイ	VU トカゲ目	タカ目	キノボリトカゲ
オオタカ	クワイワトカゲモドキ	オオワシ	バーバートカゲ
チュウヒ	ミヤコトカゲ	ハヤブサ	ミヤコヒバ
リュウキュウツミ	ミヤラヒメヘビ	キジ目	ヨナグニシユダ
ライチョウ	カメ目	ツル目	アオウミガメ
オオクイナ	アカウミガメ	シマクイナ	セマルハコガメ
タンチョウ	リュウキュウヤマガメ	ナベヅル	両生類
マナヅル	CR サンショウウオ目	チドリ目	アベサンショウウオ
アオアシシギ	EN サンショウウオ目	オオアジサシ	ハクバサンショウウオ
カムムリウミスズメ	ホクリクサンショウウオ	ケイマフリ	カエル目
コアジサシ	イシカワガエル	ズグロカモメ	コガタハナサキガエル
ツバメチドリ	VU サンショウウオ目	ホウロクシギ	イボイモリ
ハト目	オオイトサンショウウオ	シリコバト	オキサンショウウオ
フクロウ目	カエル目	リュウキュウオオコノハズク	アマミハナサキガエル
ブッポウソウ目	オットンガエル	ブッポウソウ	ダルマガエル
キツツキ目	ナミエガエル	アマミコゲラ	ハナサキガエル
クマゲラ	ホルストガエル	スズメ目	
サンショウクイ		チゴモズ	

改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物環境省編

さっぽろ円山動物園だより 2004・秋 vol.99 別冊

平成16年10月21日発行
●編集・発行 札幌市円山動物園
〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
TEL/011-621-1426 FAX/011-621-1428

さっぽろ市
03-J 08-04-177
16-2-20